

【令和7年度分 様式3】

令和7年度特色ある学校づくり推進事業報告書

学校番号（57） 学校名 豊田市立道慈小学校

1 テーマ

ふるさと小原のよさを学び、未来につなぐ子どもの育成
～道慈ふるさと学習を通して～

2 ねらい

- ・小原の地域資源（ひと・こと・もの）を生かした活動を通して、小原の人たちの地域への思いに触れたり、小原のよさを発見・理解したりし、「ふるさと小原」に愛着をもち、将来の小原について考えようとする子に育てる。
- ・小原の伝統文化・芸能（小原和紙・小原歌舞伎）を体験し、それらを誇りに思う気持ちを高める。
- ・小原の気候を生かした作物を育てる活動を通して、自然の豊かさに気付き、自然を守ろうという気持ちを高める。

3 活動内容

- ・全学年が自分たちで選んだ野菜を栽培し、収穫の喜びを味わう。
- ・全学年で伝統工芸である和紙作品を制作する。6年生は五平餅、4年生は和紙について詳しく調べ、衣丘小学校との交流の場（5月）で発表する。
- ・小原歌舞伎を3, 4年生が上演し、他学年がそれを鑑賞する。
- ・5年生が米作りの体験を通して、農業・特に米作りの大変さや面白さを実感する。

4 成果と課題

- ・和紙制作は、今年も地元の和紙作家さん等を講師として毎時間来ていただき、児童にも担任にも専門的に指導助言してもらった。
- ・歌舞伎は、3, 4年生が小原歌舞伎保存会の方の指導で、歌舞伎独特のセリフ回しや所作を学んだ。
- ・米作りでは、講師の方の田んぼを借りて支援していただいている。今年度は、小原3校がそれぞれの学校で収穫した米について比較し、自分たちの作った米、地域にさらに愛着をもつことができた。
- ・各学年の野菜作りについては、多くの種類の野菜と一人一つ以上の種類を育て、収穫し、家庭にも持ち帰ったり調理実習をしたりした。
- ・体力向上補助指導員を配置することで、専門的な目と知識で体育の授業時教員に助言をいただいたり個へアプローチしてもらったりし、子どもたちへの個別指導を充実させることができた。
- ・校内整備員を配置することで校地内・通学路の整備がスムーズに進み、児童の安全を確保できた。

5 保護者・地域への情報発信の取組実績

- ・ホームページや学校だよりや学年だよりで各学年の栽培や、和紙や歌舞伎の取組を紹介した。歌舞伎は12月の授業参観で発表した。
- ・2月の道慈フェスティバルで各学年の取組を保護者や地域に発表する予定である。